

News Release

西日本最大の国際協力のお祭り「ワン・ワールド・フェスティバル」 関テレ扇町スクエア、北区民センター、扇町公園など地域一帯を会場に初開催

～2日間で3万人の来場予定。国際協力の認知向上に、大阪のクリエイター人材を活かす～

クリエイター支援施設「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」(所在地:大阪市北区 所長:堂野 智史、以下メビック扇町)は、2月7日(土)、8日(日)に開催される「ワン・ワールド・フェスティバル」(主催:ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会)に参加し、会場提供を行います。同催しは、環境破壊、難民、貧困など世界中で起きている様々な問題を解決するための、国際協力の重要性を認識し、多様な団体や企業の活動を通してその現状を知ることを目指し、1993年より開催。第22回となる今回、扇町界隈一帯が初めて会場となり、国際協力をキーワードに、様々なプログラムが展開されます。メビック扇町は会場として施設提供を行うと共に、国際協力に取り組む企業やNGO、NPOとクリエイター(*)が互いに活動を紹介し、理解を深めるプレゼンテーション大会を行います。

※クリエイターとは、プロのデザイナー、写真家、イラストレーター、映像作家、コピーライター、編集者などを指します。

大阪は東京に次ぐ第2のクリエイティブ産業集積地

大阪のクリエイティブ企業は約14,000社(※2)と、東京に次ぐ全国2番目の集積地です。メビック扇町は、地理的に集中したクリエイティブ分野の関連企業が競争しつつ、緩やかに協力しあう環境づくりに取り組み、企業や大学などとの協業・連携を支援。また、近年は農業や企業のCSR活動など新しい分野で、デザインや編集といったクリエイティブの可能性を拡げることで、クリエイティブ産業の活性化に繋げることを目指しています。今回、非営利活動もそのひとつと捉え、この催しをきっかけに、今後同分野で大阪の豊富なクリエイター人材が活かされることを期待しています。

※2 総務省「経済センサス」平成21年版より

プレゼンで互いに理解し、新たなコラボを。

今回、同催しに初めて参加、会場提供を行うにあたって、準備段階からクリエイターがツールデザインやブース、広報などに対し専門的なアドバイスを行いました。また、2月7日(土)に行うプレゼンテーション大会では、NGOや企業による活動紹介のほか、広告やweb、空間など各分野で活躍するクリエイターが、国際活動の認知向上にも求められる、効果的な情報発信戦略について解説します。



メビック扇町が入る、関テレ扇町スクエア



クリエイターがデザインした「ワン・ワールド・フェスティバル」チラシ

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町 広報担当:松井
〒530-0025 大阪市北区扇町2-1-7 関テレ扇町スクエア3F
TEL:06-6316-8780(平日10:00~21:30) FAX:06-6316-8781 e-mail:info@mebic.com
ホームページ: <http://www.mebic.com/>